

第1章 調査の概要

第1節 調査の目的

本調査は、名古屋市高齢者就業支援センターホームヘルパー2級養成講習修了者を対象に、ホームヘルパーとしての就業状況を把握するとともに、今後における本事業の充実、拡大への参考に資すべく、実施しました。

第2節 調査の方法

郵送によるアンケート調査（自計郵送方式）

第3節 調査の期間

平成19年8月1日～平成19年8月31日

第4節 回答状況

平成18年度ホームヘルパー2級養成講習修了者108名のうち91名の回答を得ました。有効回答率は、84.3%でした。

第2章 調査の結果

第1節 基本的属性

(1) 性別

「男性」が20.9%を、「女性」が79.1%を占めています(図表2-1-1)。

図表2-1-1 性別

	サンプル数	男	女
全体	91	19	72
	100.0%	20.9%	79.1%

(2) 年齢

「60歳以上65歳未満」では44.0%を占め、次いで「65歳以上70歳未満」が25.3%を占めています(図表2-1-2)。

図表2-1-2 年齢

	サンプル数	60歳未満	60歳以上65歳未満	65歳以上70歳未満	70歳以上
全体	91	18	40	23	10
	100.0%	19.8%	44.0%	25.3%	11.0%

(3) 家族構成

「夫婦二人」の方が51.6%と最も多く、次いで「子どもと同居」の方が30.8%、「一人暮らし」の方が8.8%となっています(図表2-1-3)。

図表2-1-3 家族構成

	サンプル数	一人暮らし	夫婦二人	子供と同居	その他	無回答
全体	91	8	47	28	7	1
	100.0%	8.8%	51.6%	30.8%	7.7%	1.1%

第2節 受講動機

全体では、「介護職に興味あり」を挙げた方が69.2%と最も多く、次いで「健康」を挙げた方が39.6%となっています(図表2-2-1)。

男女別では、「男性」が「介護職に興味あり」を挙げた方が57.9%、「女性」が「介護職に興味あり」を挙げた方が72.2%と男女とも最も多くなっています。

年齢別では、「60歳未満」、「60~65歳未満」、「65~70歳未満」では「介護職に興味あり」を挙げた方が、それぞれ83.3%、72.5%、65.2%と最も多く、「70歳以上」では「社会・地域貢献」を挙げた方が80.0%と最も多くなっています。

図表2-2-1 受講動機(複数回答)

		サンプル数	生計維持	家計補助	社会 地域貢献	健康	介護職に 興味あり	今までと 違う仕事 がしたい	その他	無回答
全体		91	20	21	30	36	63	16	11	2
			22.0%	23.1%	33.0%	39.6%	69.2%	17.6%	12.1%	2.2%
性別	男	19	7	4	8	7	11	6	2	0
			36.8%	21.1%	42.1%	36.8%	57.9%	31.6%	10.5%	0.0%
	女	72	13	17	22	29	52	10	9	2
			18.1%	23.6%	30.6%	40.3%	72.2%	13.9%	12.5%	2.8%
年齢別	60歳未満	18	5	4	4	3	15	3	4	1
			27.8%	22.2%	22.2%	16.7%	83.3%	16.7%	22.2%	5.6%
	60~65歳未満	40	9	6	11	13	29	11	3	1
			22.5%	15.0%	27.5%	32.5%	72.5%	27.5%	7.5%	2.5%
	65~70歳未満	23	6	6	7	13	15	2	2	0
			26.1%	26.1%	30.4%	56.5%	65.2%	8.7%	8.7%	0.0%
	70才以上	10	0	5	8	7	4	0	2	0
			0.0%	50.0%	80.0%	70.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%

第3節 講習を受けて良かったこと

全体では、「生きがい・やりがい」を挙げた方が30.8%と最も多く、次いで「社会参加のきっかけ」を挙げた方が29.7%となっています（図表2-3-1）。

男女別では、「男性」は「社会参加のきっかけ」、「生きがい・やりがい」を挙げた方がともに31.6%と最も多く、「女性」では「生きがい・やりがい」を挙げた方が30.6%と最も多くなっています。

年齢別では、「60歳未満」では「社会参加のきっかけ」を挙げた方が38.9%と最も多く、「60歳以上65歳未満」、「65歳以上70歳未満」では「生きがい・やりがい」を挙げた方が、それぞれ35.0%、39.1%と最も多く、「70歳以上」では、「良い仲間・友達ができた」を挙げた方が最も多く、ともに50.0%となっています。

図表2-3-1 講習を受けて良かったこと

		サンプル数	良い仲間・友達ができた	生きがい・やりがい	社会参加のきっかけ	特になし	その他	無回答
全体		91	25	28	27	1	8	2
		100.0%	27.5%	30.8%	29.7%	1.1%	8.8%	2.2%
性別	男	19	5	6	6	1	1	0
		100.0%	26.3%	31.6%	31.6%	5.3%	5.3%	0.0%
	女	72	20	22	21	0	7	2
		100.0%	27.8%	30.6%	29.2%	0.0%	9.7%	2.8%
年齢別	60歳未満	18	6	2	7	0	2	1
		100.0%	33.3%	11.1%	38.9%	0.0%	11.1%	5.6%
	60～65歳未満	40	9	14	11	0	6	0
		100.0%	22.5%	35.0%	27.5%	0.0%	15.0%	0.0%
	65～70歳未満	23	5	9	7	1	0	1
		100.0%	21.7%	39.1%	30.4%	4.3%	0.0%	4.3%
	70才以上	10	5	3	2	0	0	0
		100.0%	50.0%	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

第4節 現在の状況

全体では、「ヘルパーとして働いている」方が63.7%と最も多く、男女別では、男性52.6%、女性66.7%となっています。(図表2-4-1)

年齢別では、どの年齢層でも「ヘルパーとして働いている」方が最も多くなっています。

受講動機別では、どの受講動機でも「ヘルパーとして働いている」方が最も多くなっています。

一方、「ヘルパーとしてまだ一度も働いていない」方は、16.5%となっています。

図表 2 - 4 - 1 現在の状況

		サンプル数	ヘルパーとして働いている	登録はしているが、現在働いていない	ヘルパーとして働いているが今は辞めている	ヘルパーとしてまだ一度も働いていない
全体		91	58	7	11	15
		100.0%	63.7%	7.7%	12.1%	16.5%
性別	男	19	10	2	2	5
		100.0%	52.6%	10.5%	10.5%	26.3%
	女	72	48	5	9	10
		100.0%	66.7%	6.9%	12.5%	13.9%
年齢別	60歳未満	18	8	1	4	5
		100.0%	44.4%	5.6%	22.2%	27.8%
	60～65歳未満	40	28	3	5	4
		100.0%	70.0%	7.5%	12.5%	10.0%
	65～70歳未満	23	15	2	2	4
		100.0%	65.2%	8.7%	8.7%	17.4%
	70才以上	10	7	1	0	2
		100.0%	70.0%	10.0%	0.0%	20.0%
受講動機	生計維持	20	10	2	5	3
		100.0%	50.0%	10.0%	25.0%	15.0%
	家計補助	21	12	3	3	3
		100.0%	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%
	社会貢献	30	20	4	1	5
		100.0%	66.7%	13.3%	3.3%	16.7%
	身体・健康	36	23	2	5	6
		100.0%	63.9%	5.6%	13.9%	16.7%
	ヘルパーの仕事に興味	63	41	4	8	10
		100.0%	65.1%	6.3%	12.7%	15.9%
	違い分野の仕事がしたい	16	8	2	2	4
		100.0%	50.0%	12.5%	12.5%	25.0%
	その他	11	8	0	1	2
		100.0%	72.7%	0.0%	9.1%	18.2%
無回答	2	2	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

第5節 就業状況

(1) 近況

(ア) 就業形態

就業形態では、「登録」の方が62.1%と最も多く、次いで「非常勤・パート」が25.9%となっています(図表2-5-1)。

図表2-5-1-ア 就業形態

	サンプル数	登録	非常勤 パート	常勤	その他	無回答
全体	58	36	15	5	1	1
	100.0%	62.1%	25.9%	8.6%	1.7%	1.7%

(イ) サービスの種類

全体では、サービスの種類をみると、「訪問介護」が69.0%と最も多く、次いで「通所介護」が13.8%となっています。(図表2-5-1-イ)

男女別では、「訪問介護」を挙げた方が、30.0%、77.1%と最も多くなっています。

図表2-5-1-イ サービスの種類

		サンプル数	訪問 介護	通所 介護	訪問 入浴 介護	介護 保険 施設 等	その他	無 回答
全体		58	40	8	0	2	6	2
		100.0%	69.0%	13.8%	0.0%	3.4%	10.3%	3.4%
性別	男	10	3	2	0	2	2	1
		100.0%	30.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	10.0%
	女	48	37	6	0	0	4	1
		100.0%	77.1%	12.5%	0.0%	0.0%	8.3%	2.1%

(ウ) 就業時間

全体では、「週5時間未満」を挙げた方が27.6%と最も多く、次いで「週10時間未満」を挙げた方が25.9%となっています(図表2-5-1-ウ)。

男女別では、「男性」は「週31時間以上」を挙げた方が30.0%と最も多く、「女性」では「週5時間未満」を挙げた方が31.3%と最も多くなっています。

サービスの種類別では、「訪問介護」では「週5時間未満」を挙げた方が40.0%と最も多く、「通所介護」では、「週15時間未満」、「週20時間未満」、「週25時間未満」を上げた方が、ともに25.0%と最も多くなっています。

図表2-5-1-ウ 就業時間

		サンプル数	週5時間未満	週10時間未満	週15時間未満	週20時間未満	週25時間未満	週30時間未満	週31時間以上	無回答
全体		58	16	15	4	5	5	3	5	5
		100.0%	27.6%	25.9%	6.9%	8.6%	8.6%	5.2%	8.6%	8.6%
性別	男	10	1	1	0	1	2	0	3	2
		100.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	20.0%	0.0%	30.0%	20.0%
	女	48	15	14	4	4	3	3	2	3
		100.0%	31.3%	29.2%	8.3%	8.3%	6.3%	6.3%	4.2%	6.3%
サービスの種類	訪問介護	40	16	13	2	3	2	2	2	0
		100.0%	40.0%	32.5%	5.0%	7.5%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%
	通所介護	8	0	0	2	2	2	1	1	0
		100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%
	介護保険施設等	2	0	0	0	0	0	0	2	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	その他	6	0	2	0	0	1	0	0	3
		100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%
	無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	2
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

(エ)「訪問介護」の担当利用者数

担当利用者数をみると、「1ケース」を担当している方が25.0%と最も多く、次いで「2ケース」で22.5%となっています。(図表2-5-1-エ)

図表2-5-1-エ 担当利用者数

	サンプル数	1ケース	2ケース	3ケース	4ケース	5ケース	6ケース	7ケース	8ケース	9ケース	10ケース	13ケース	無回答
全体	40	10	9	4	4	5	0	1	0	1	1	1	4
	100.0%	25.0%	22.5%	10.0%	10.0%	12.5%	0.0%	2.5%	0.0%	2.5%	2.5%	2.5%	10.0%

(オ) 報酬金額(月額)

全体では、「5万円以上10万円未満」の方が36.2%と最も多く、次いで「1万円以上5万円未満」の方で25.9%となっています(図表2-5-1-オ)。

男女別では、男性は「5万円以上10万円未満」、「10万円以上」の方がともに40.0%と最も多く、女性では「5万円以上10万円未満」の方が35.4%と最も多く、次いで「1万円以上5万円未満」の方が29.2%となっています。

年齢別では、「60歳未満」では、「1万円以上5万円未満」、「5万円以上10万円未満」、「10万円以上」の方がともに25.0%と最も多く、「60歳以上65歳未満」、「65歳以上70歳未満」では、「5万円以上10万円未満」の方が、それぞれ35.7%、53.3%と最も多く、「70歳以上」では、「1万円以上5万円未満」が71.4%と最も多くなっています。

なお、最高報酬金額は200,000円、最低報酬金額は9,000円、平均報酬金額は52,543円となっています。

図表2-5-1-オ 報酬金額(月額)

		サンプル数	1万円未満	1万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上	無回答
全体		58	2	15	21	10	10
		100.0%	3.4%	25.9%	36.2%	17.2%	17.2%
性別	男	10	0	1	4	4	1
		100.0%	0.0%	10.0%	40.0%	40.0%	10.0%
	女	48	2	14	17	6	9
		100.0%	4.2%	29.2%	35.4%	12.5%	18.8%
年齢別	60歳未満	8	0	2	2	2	2
		100.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
	60～65歳未満	28	2	7	10	4	5
		100.0%	7.1%	25.0%	35.7%	14.3%	17.9%
	65～70歳未満	15	0	1	8	4	2
		100.0%	0.0%	6.7%	53.3%	26.7%	13.3%
	70才以上	7	0	5	1	0	1
		100.0%	0.0%	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%

(2) ホームヘルパーの仕事を続けられる理由

全体では、「利用者などに感謝されるとうれしいから」を挙げた方がともに50.0%と最も多く、次いで「自分の老後に役に立つから」を挙げた方が39.7%となっています(図表2-5-2)。

男女別では、男性は「人の役に立てるから」、「利用者などに感謝されるとうれしいから」を挙げた方がそれぞれ60.0%と最も多く、女性では「利用者などに感謝されるとうれしいから」を挙げた方が47.9%と最も多くなっています。

年齢別では、「60歳未満」では「利用者などに感謝されるとうれしいから」、「介護の仕事が好きだから」を挙げた方がそれぞれ50.0%と最も多く、「60歳以上65歳未満」では「利用者などに感謝されるとうれしいから」を挙げた方が57.1%と最も多く、「65歳以上70歳未満」では「仕事に誇りを持っているから」を挙げた方が46.7%と最も多く、「70歳以上」では「自分の老後に役に立つから」を挙げた方が71.4%と最も多くなっています。

図表2-5-2 ホームヘルパーの仕事を続けられる理由(複数回答)

		サンプル数	仕事に誇りを持っているから	人の役に立てるから	高齢者から学ぶことが多いから	利用者などに感謝されるとうれしいから	介護の仕事が好きだから	他に良い勤め先がないから	自分の老後に役に立つから	家計補助のため	その他	無回答
全体		58	20	20	19	29	19	5	23	9	2	1
			34.5%	34.5%	32.8%	50.0%	32.8%	8.6%	39.7%	15.5%	3.4%	1.7%
性別	男	10	1	6	1	6	3	3	3	3	0	0
			10.0%	60.0%	10.0%	60.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	女	48	19	14	18	23	16	2	20	6	2	1
			39.6%	29.2%	37.5%	47.9%	33.3%	4.2%	41.7%	12.5%	4.2%	2.1%
年齢別	60歳未満	8	3	1	3	4	4	1	3	1	0	0
			37.5%	12.5%	37.5%	50.0%	50.0%	12.5%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	60~65歳未満	28	7	10	11	16	8	2	10	4	2	1
			25.0%	35.7%	39.3%	57.1%	28.6%	7.1%	35.7%	14.3%	7.1%	3.6%
	65~70歳未満	15	7	5	4	6	6	1	5	3	0	0
			46.7%	33.3%	26.7%	40.0%	40.0%	6.7%	33.3%	20.0%	0.0%	0.0%
	70才以上	7	3	4	1	3	1	1	5	1	0	0
			42.9%	57.1%	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%

(3) ホームヘルパーとして働いてみて、困っていること・悩んでいること

ホームヘルパーとして働いてみて、困っていること・悩んでいることでは、「特になし」を挙げた方が58.6%と最も多くなっています(図表2-5-3)。

図表2-5-3 困っていること・悩んでいること

	サンプル数	調理に関すること	利用者さんまたはその家族に関すること	介護保険制度について	介護技術について	特になし	その他	無回答
全体	58	4	2	5	2	34	6	5
	100.0%	6.9%	3.4%	8.6%	3.4%	58.6%	10.3%	8.6%

(4) 勤め先の変更

勤め先の変更については、「変更したことがない」方が93.1%、「ある」方が3.4%となっています(図表2-5-4)。

図表2-5-4 勤め先の変更

	サンプル数	あり	なし	無回答
全体	58	2	54	2
	100.0%	3.4%	93.1%	3.4%

第6節 登録をしているが、現在は働いていない理由

全体では、「自己都合（身内の介護、病気など）」を挙げた方が42.9%と最も多くなっています（図表2-6-1）。

図表2-6-1 登録をしているが、働いていない理由（複数回答）

		サンプル数	自己都合 （身内の介護、 病気など）	事業所からの 仕事の紹介が ないから	紹介はあるが、 自分にあう ケースがなく、 断っているから	その他
全体		7	3	1	2	2
		100.0%	42.9%	14.3%	28.6%	28.6%
性別	男	2	1	0	0	1
		100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	女	5	2	1	2	1
		100.0%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%
年齢別	60歳未満	1	1	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60～65歳未満	3	1	0	1	1
		100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%
	65～70歳未満	2	1	0	1	1
		100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	70才以上	1	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

第7節 働いていない方の状況

「ホームヘルパーとして働いていたが、現在は辞めている」または、「ホームヘルパーとしてはまだ一度も働いていない」と回答した方の状況。

(1) 現在の状況

「仕事はしていない」方が61.5%と最も多く、次いで「ヘルパー以外の仕事をしている」方は23.1%となっています(図表2-7-1)。

図表2-7-1 働いていない方の現在の状況

	サンプル数	ヘルパー以外の仕事をしている	仕事はしていない	無回答
全体	26	6	16	4
	100.0%	23.1%	61.5%	15.4%

(2) 働いていない理由

全体では、「身内の介護をしているから」、「知識・技能に自信がないから」を挙げた方がともに37.5%と最も多く、次いで「病気のため」、「精神的にきついから」を挙げた方が25.0%となっています。(図表2-7-2)

図表2-7-2 働いていない理由(複数回答)

		サンプル数	身内の介護をしているから	病気のため	知識・技能に自信がないから	体力的にきついから	精神的にきついから	報酬が低いから	面接会で希望の事業所がなかったため	その他
全体		16	6	4	6	2	4	2	3	4
			37.5%	25.0%	37.5%	12.5%	25.0%	12.5%	18.8%	25.0%
性別	男	3	0	1	2	0	1	0	1	1
			0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%
	女	13	6	3	4	2	3	2	2	3
			46.2%	23.1%	30.8%	15.4%	23.1%	15.4%	15.4%	23.1%
年齢別	60歳未満	6	3	1	1	1	1	1	1	1
			50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%
	60～65歳未満	8	2	2	4	1	3	1	1	2
			25.0%	25.0%	50.0%	12.5%	37.5%	12.5%	12.5%	25.0%
	65～70歳未満	1	0	0	1	0	0	0	1	1
			0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	70才以上	1	1	1	0	0	0	0	0	0
			100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

第3章 結果からの考察

ホームヘルパー2級養成講習修了後、約1年後に本調査を実施しましたが、「ホームヘルパーとして働いている」方が63.7%であり、「登録はしているが現在働いていない」方と「現在は辞めているがホームヘルパーとして働いたことのある」方をあわせると83.5%と、非常に多くの方がホームヘルパーとして活躍しています。

男女別の就業率は、男性が52.6%、女性が66.7%であり、男女ともに半数以上の方が就業を継続している状況となっています。

さらに、年齢別でみると、どの年齢層も50.0%前後の方が働いていることから、年齢に関わりなく就業可能な分野といえます。

受講動機は、「介護職への興味」や「社会貢献」や「健康」とする受講者が多いことや、就業形態が「登録」の方が62.1%と多数を占める結果となったことから、高齢者にとって、適合した就業先であるといえます。

サービスの種類は、「訪問介護」の方が69.0%と最も多く、特に女性は、77.1%と最も多くなっています。

就業時間は、「週5時間未満」が27.6%と最も多く、次いで「週10時間未満」が25.9%となっています。サービスの種類別に就業時間をみると、「訪問介護」の方は、「週5時間未満」、「週10時間未満」がそれぞれ40.0%、32.5%となり、「通所介護」の方は、「週15時間未満」、「週20時間未満」、「週25時間未満」の方がそれぞれ25.0%と最も多く、「通所介護」の方は「訪問介護」の方よりも就業時間数が長い結果になっています。

報酬金額は、「5万円以上10万円未満」が36.2%と最も多く、次いで「1万円以上5万円未満」が25.9%となっています。昨年度調査では、「1万円以上5万円未満」が58.6%と最も多く、次いで「5万円以上10万円未満」が31.0%となっており、今年度調査では、前年度調査より全体的に報酬金額が高い結果となっています。また平均報酬金額をみると52,543円で、昨年度調査では、39,638円となっていることから、その傾向を裏付ける結果となっています。

報酬金額が高くなった要因として、受講動機で「家計補助」を挙げた方の割合がやや増加したことや、通所系施設への就業がやや増加したことが考えられます。また講習修了後、即戦力として活躍していると考えられます。

年間の講習修了者数がやや減少し、近年ますます介護職離れが進む中、受講者確保が課題と考えられます。講習最終日に公共職業安定所の協力を得て実施している「就業面接会」では、求人事業所の参加数が増加しており、求職者に比べ、求人数は増加していると考えられます。メディアでは、介護職離れの原因として、給与が安いのに仕事がつらい職場の実態が広く知られてきたことに加え、景気回復で他産業に人が流れたことであると言われていています。今後、多様化する福祉ニーズに対応した適切な介護サービスを提供するために、必要な知識や技能を身につけるだけでなく、公共職業安定所等とさらに連携を強化し、介護職のマイナスイメージの改善を図り、介護職の就業を希望する高齢者を確保することが必要となります。

そして、即戦力として活躍できる人材を育成するとともに、講習修了後すぐに介護職で働くことのできる環境を各事業所と連携を図り整備し、実効ある事業を実施していく必要があります。